

アクセスログ機能を強化

ネットワーク接続ハードディスク HDL-H シリーズ ログ拡張パッケージ

ご注意

- 事前に本パッケージの追加をおこなってください。パッケージの追加方法は、【画面で見るマニュアル】をご覧ください。

INDEX

ログ拡張パッケージとは	2
ログ拡張の設定をする	3
アラート設定する	5
制限キーを追加登録する	7
制限キーを解除する	9
ログ・お知らせ一覧	10

[【マニュアルアンケートはこちら】](#)

よりよいマニュアル作りのため、アンケートにご協力願います。

ログ拡張パッケージとは

ログの長期保管機能

本パッケージで設定したシステムログ、アクセスログは指定のフォルダーに保存し管理します。このシステムログ、アクセスログは設定した条件にならない限り消去されません。

アクセスログ閲覧ツール「LAN DISK Access Log Viewer」のご紹介

LAN DISK Access Log Viewer は、本パッケージにより、専用フォルダーに保存された膨大なアクセスログから必要な記録を抽出することができます。詳しくは、弊社 Web サイトをご確認ください。

アクセスログのアラート機能

設定した条件のアクセスログが記録された場合、システムログにアラート対象のアクセスが発生したことをログとして記録します。

アクセスログの削除・改ざん防止機能

お手持ちの USB メモリーを制限キーとして利用できます。

制限キーは、専用共有フォルダーへのアクセスや、ログ拡張に関する設定変更を許可するためのカギになります。

制限キーとして設定した USB メモリーが HDL-H シリーズに接続されている場合のみ、専用共有フォルダーへのアクセスや、ログ拡張に関する設定変更を可能にできます。
(制限キーを利用しない運用も可能です。)

制限キーの利用について

制限キーは、管理の権限分離でご利用いただけます。

権限分離とは、制限キーをシステム管理者以外の方（経営者、監査室など）が利用することです。

これにより、万一の情報漏えい時にアクセスログの削除や改ざんを防ぐことができ、ログの証拠性を上げることができます。

制限キーを利用すると、ログフォルダーのアクセス制限や、ログ拡張パッケージの設定をそれぞれ制限することができます。

準備するもの

制限キー機能を利用する場合は、USB メモリーを準備してください。

●対応 USB メモリー：弊社製 USB メモリー※

※ ED シリーズなど、暗号化されている USB メモリーは使用できません。

制限キーに使用する USB メモリーについて

USB メモリーはキーとして使用するのみで、すでに保存されているデータに対して影響を与えません。

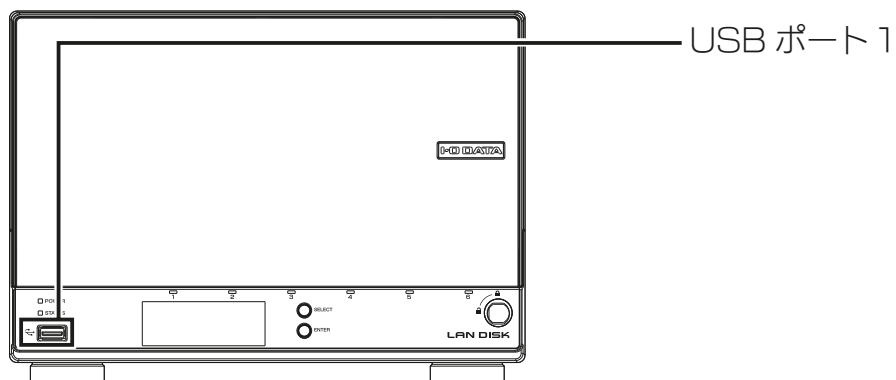
ご注意

- 万一、制限キーを紛失した場合、ログへのアクセスや設定変更が一切できなくなってしまうます。制限キーを紛失することがないように十分にご注意ください。また、制限キーとあわせてスペアキーを追加登録することをおすすめします。
- 本パッケージを追加後は、初期化・フォーマットの操作はおこなえません。（初期化・フォーマット実行時にエラー表示されます。）
本パッケージ導入後に、HDL-H シリーズを初期化・フォーマットする場合は以下の手順にしたがってください。
※それぞれの詳しい方法は【HDL-H シリーズ HDL-HR シリーズ画面で見るマニュアル】でご確認ください。
①ログ拡張パッケージを削除する （[システム]→[パッケージ管理]→[一覧]）
②初期化・フォーマットをおこなう

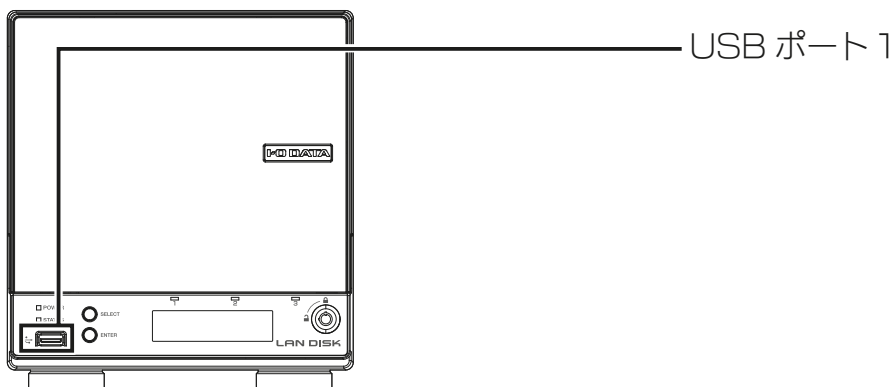
ログ拡張の設定をする

- 1 制限キーの機能を利用する場合は、
HDL-H シリーズ前面の USB ポート 1 に制限キーにする USB メモリーをつなぐ

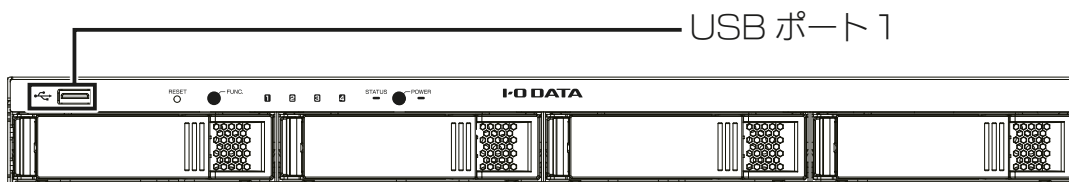
HDL6-H (HDL4-HEX) 前面



HDL2-H 前面



HDL4-HR 前面



2



ログ拡張



設定

[ログ拡張] → [設定] をクリック

3

① 設定情報を入力

※設定内容は以下の [設定内容一覧] をご確認ください。

② [適用] をクリック

設定内容一覧

設定変更に制限キーを要求する	ログフォルダーの設定変更をおこなう際に、制限キーの接続を必要とするかどうかを設定します。
ログフォルダーの共有に制限キーを要求する	ログフォルダーを共有する際に、制限キーの接続を必要とするかどうかを設定します。
ログフォルダー名	本パッケージで保存されるシステムログ、アクセスログを保存するフォルダー名を設定します。
ユーザー・グループ	設定したログフォルダーのアクセス権を設定します。
アクセスログを記録する	アクセスログを記録するかどうかを設定します。 [アクセスログ情報をログフォルダーにファイルとして出力する] にチェックをつけると、記録されたアクセスログをファイルとして記録します。 [アクセスログを取得する共有フォルダー] では、ファイルとして記録するアクセスログの対象フォルダーを選択します。 [アクセスログファイルを自動的に削除する] では、ファイルの削除条件を設定します。
システムログ情報をログフォルダーにファイルとして出力する	チェックをつけると、記録されたシステムログをファイルとして記録します。 [システムログファイルを自動的に削除する] では、ファイルの削除条件を設定します。

以上で、設定は完了です。

アラート設定する

設定した条件のアクセスログが記録された場合、システムログにアラート対象のアクセスが発生したことをログとして記録します。



また、HDL-H シリーズの通知設定がおこなわれている場合、メールによる通知もおこないます。

※通知設定については、【HDL-H シリーズ、HDL-HR シリーズ画面で見るマニュアル】をご覧ください。


メール通知について

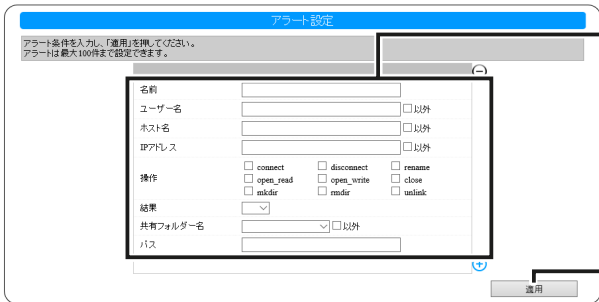
- アラートによるメール通知を過去 1 時間に 6 通送信している場合は、メール送信をおこないません。
- HDL-H シリーズのシャットダウン時には、過去 1 時間の送信状態はリセットされます。

- 1 制限キーの機能を利用している場合は、
HDL-H シリーズ前面の USB ポート 1 に制限キーをつなぐ

- 2   [ログ拡張] → [アラート設定] をクリック

- 3  をクリック

- 4  クリック

- 5  ①設定情報を入力
※設定内容は以下の [設定内容一覧] をご確認ください。
② [適用] をクリック

設定内容一覧

名前	任意のアラート名を入力します。
ユーザー名	対象のユーザー名を設定します。 [以外] にチェックをつけると、そのユーザー以外が対象となります。
ホスト名	対象のホスト名を設定します。 [以外] にチェックをつけると、そのホスト以外が対象となります。
IP アドレス	対象の IP アドレスを設定します。 [以外] にチェックをつけると、その IP アドレス以外が対象となります。
操作	対象となる操作を選択します。
結果	対象となる結果を選択します。
共有フォルダー名	対象となる共有フォルダー名を選択します。 [以外] にチェックをつけると、その共有フォルダー以外が対象となります。
パス	対象となるパスを選択します。

以上で、設定は完了です。




他の条件を設定する場合は、 アイコンをクリックして追加します。

アラート設定は最大 100 件まで設定できます。

アラート条件を削除する場合

- 1 制限キーの機能を利用している場合は、
HDL-H シリーズ前面の USB ポート 1 に制限キーをつなぐ


- 2






ログ拡張
アラート設定


[ログ拡張] → [アラート設定] をクリック

- 3



削除するアラート条件の  を
クリック
削除するアラートが黒くなります。

- 4



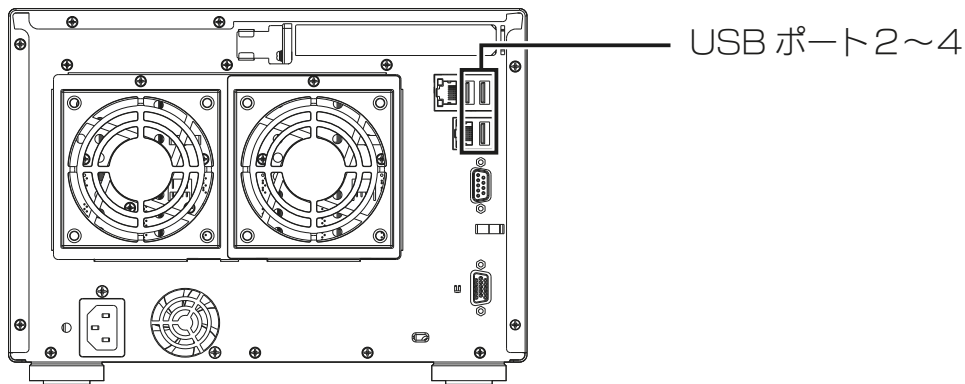
[適用] をクリック

以上で、削除されました。

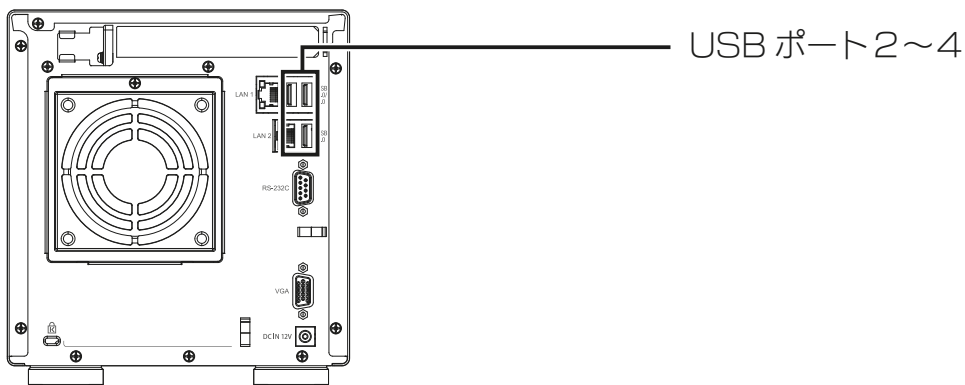
制限キーを追加登録する

- 1 登録した制限キーを、HDL-H シリーズ背面の USB ポート 2～4につなぐ

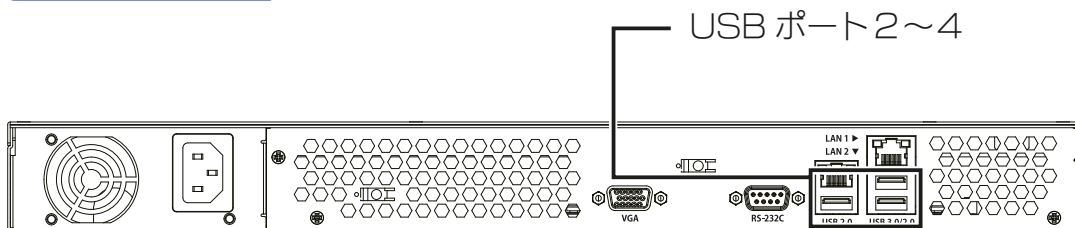
HDL6-H (HDL4-HEX) 背面



HDL2-H 背面



HDL4-HR 背面



- 2 追加登録する USB メモリーを、HDL-H シリーズ前面の USB ポート 1につなぐ

3



ログ拡張



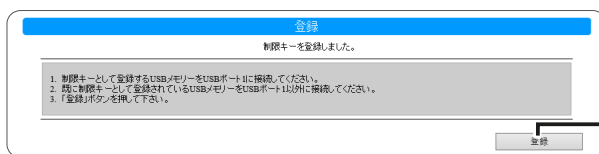
制限キー



登録

[ログ拡張] → [制限キー] → [登録] を
クリック

4



[登録] をクリック

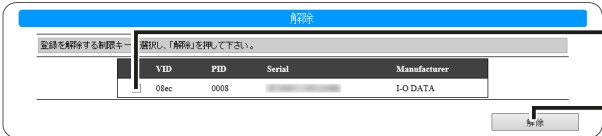
以上で、制限キーが登録されました。

制限キーを解除する

1 解除する制限キーを、HDL-H シリーズ前面の USB ポート 1 につなぐ

2    [ログ拡張] → [制限キー] → [解除] をクリック

ログ拡張 制限キー 解除

3  ①解除する制限キーにチェック
②[解除] をクリック

解除

記録を解除する制限キーを選択し、「解除」を押して下さい。

VID	PID	Serial	Manufacturer
08ec	0008		I/O DATA

解除

以上で、制限キーが解除されました。

ログ・お知らせ一覧

※レベルが[情報] のメッセージコードは、システムログには表示されません。

※ SNMP トラップで送信されるメッセージコードには "-" は含まれません。

カテゴリ	メッセージコード	レベル	メッセージ	液晶表示	説明	お知らせ	メール通知	NarSuS通知	SNMPトラップ
ログ拡張	7100-0001	情報	設定を変更しました。	-	設定変更が正常に完了した。	-	-	-	-
	7100-0002	情報	制限キーを登録しました。	-	制限キーの登録が正常に完了した。	-	-	-	-
	7100-0003	情報	制限キーを削除しました。	-	制限キーの削除が正常に完了した。	-	-	-	-
	7103-0000	警告	システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。	-	他の処理中のため、指定された処理を行えなかった。	-	-	-	-
	7104-0001	警告	設定変更に失敗しました。	-	設定変更に失敗した。	-	-	-	-
	7104-0002	警告	制限キーの登録に失敗しました。	-	制限キーの登録に失敗した。	-	-	-	-
	7104-0003	警告	制限キーの削除に失敗しました。	-	制限キーの削除に失敗した。	-	-	-	-
	7105-0001	警告	制限キーが接続されていないため設定を変更できません。	-	制限キーが接続されていないため設定変更に失敗した。	-	-	-	-
	7105-0002	警告	制限キーが接続されていないため制限キーの登録ができません。	-	登録済の制限キーが接続されていないため制限キーの登録に失敗した。	-	-	-	-
	7105-0003	警告	制限キーが接続されていないため制限キーの削除ができません。	-	登録済の制限キーが接続されていないため制限キーの削除に失敗した。	-	-	-	-
	7110-0000	警告	登録する USB メモリーが接続されていません。	-	登録する USB メモリーが接続されていないため登録に失敗した。	-	-	-	-